

# 未来へつなぐ 平和への想い

■問合せ…学校教育課(☎025-545-9244)



**平和についての学びをより深めるため広島へ**

上越教育大学附属中学校  
坂上 奏子

私は昨年、沖縄への修学旅行や、その事前学習で直江津捕虜収容所の出来事を学ぶなど、平和について考える機会がありました。今回、学校で広島派遣の募集があり、沖縄と同じように大勢の人々が亡くなった広島でも学んでみたいと思い、参加しました。

今回の派遣で私が強く感じたことは、学校に行く、ご飯を食べるなどは、

**想像を絶した、原爆による被害**

柿崎中学校  
山賀 陽太

昨年、この派遣事業に参加した先輩が全校集会で、広島で見聞きした戦争の悲惨さについて「言葉で言い表せないほど壮絶なものだった」と話していました。私も、自分の目で戦争や原爆がどのようなものだったのかを確かめたいと思い、参加を決めました。

以前から戦争や原爆について自分なりに勉強していたのですが、原爆で焼かれた人の写真や、当時の姿で

**自分もひとりの語り手となって**

私が特に印象に残ったのは、袋町小学校平和資料館でお聞きした「風化」という言葉です。現在、原爆被害者の平均年齢は約80歳で、10年後、

私にとっては当たり前前の日常生活が、実はとても貴重なものなんだということ。訪問先で当時の写真を見たり、戦争を体験した人のお話を聞いた中で、戦争や原爆によってその「当たり前」が奪われてしまったことの恐ろしさを実感しました。

**いろいろな意見や情報に触れ、自分の意見を持てるように**

平和記念公園や資料館では、大勢の外国の人を目にしました。宿泊先で見たニュースでインタビューに応じていた外国の人は、「自国で学ん

保存されている原爆ドームなど、実際に現地で目にした原爆の爪痕は、想像を絶するものばかりでした。

78年前の8月6日、私たちが平和記念式典に参加した日のように雲一つない青空が広がる広島のみちが、原爆によって一瞬で死の世界になったと考えると、とても恐ろしくなりました。

- |                      |                 |                    |                  |                 |                  |                  |                  |                     |
|----------------------|-----------------|--------------------|------------------|-----------------|------------------|------------------|------------------|---------------------|
| <b>【後列】</b><br>(左から) | 川久保駿さん<br>中郷中学校 | 坂上奏子さん<br>上教大附属中学校 | 秋山笑胡さん<br>牧中学校   | 深石倉良さん<br>板倉中学校 | 市村舞花さん<br>清里中学校  | 佐藤颯真さん<br>三和中学校  | 小林亜瑚さん<br>名立中学校  | 熊谷和起さん<br>直江津中等教育学校 |
| <b>【中列】</b>          | 池田和葵さん<br>潮陵中学校 | 吉野陽向さん<br>大島中学校    | 井部柚花さん<br>浦川原中学校 | 矢澤朱里さん<br>安塚中学校 | 山賀陽太さん<br>柿崎中学校  | 草間隼颯さん<br>大淵町中学校 | 大瀧ほの香さん<br>頸城中学校 | 竹田梨紗さん<br>吉川中学校     |
| <b>【前列】</b>          | 伊藤寧々さん<br>春日中学校 | 布施コナさん<br>城北中学校    | 丸田翔和さん<br>城東中学校  | 平原蓮さん<br>城西中学校  | 小日向遼馬さん<br>雄志中学校 | 横山春人さん<br>八千浦中学校 | 小林末尋さん<br>直江津中学校 |                     |

20年後には悲惨な体験を伝えられる人がいなくなってしまう。今回参加させてもらった自分だからこそ、伝えられることがあると思っていま

す。戦争の恐ろしさが薄れ、悲劇がまた繰り返されることのないように、みんなが平和で幸せに暮らせるように、自分が見たこと、感じたことを自分の言葉で、家族や友達、地域の人などに伝えていきたいです。

袋町小学校平和資料館で、展示資料をじっくり見つめる坂上さん

**「平和」の大切さを次の世代に**

昨年2月から続くロシアによるウクライナ侵攻をはじめ、世界の各地では今なお紛争が続いており、多くの人々が戦禍に巻き込まれ、飢餓や貧困に苦しみ、尊い命が失われています。

グローバル化が進む今日、遠く離れた国や地域で起きている紛争も、私たちにあっては他人事ではありませ

ん。現に、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化は、エネルギーや食料をはじめ、さまざまな原材料の高騰につながり、私たちの生活に大きな影響を及ぼしています。

第二次世界大戦終結から78年を迎えた今年、市では戦争の悲惨さと平和の尊さを学び、後世に伝えることを目的に、8月5日から7日までの3日間にわたり、次代を担う中学生の代表23人を広島へ派遣しました。

今号では、彼らが見聞きし体験した広島での記録と共に、私たちが決して忘れてはならない、戦争が引き起こした市内での悲しい出来事についても紹介します。

袋町小学校平和資料館で、解説ビデオに真剣に見入る山賀さん

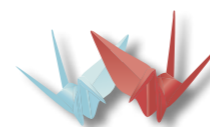


広島平和記念式典 中学生派遣事業





# 平和への誓いを胸に



中学生たちが「目で見て」「耳で聞いて」「手で触れて」学び、思いを巡らせた戦争や原爆の恐ろしさと平和の尊さ。3日間にわたる広島での派遣事業の様子と、若き語り手としての市内での活動の一部を紹介します。

⑨ 10 平和を願うメッセージを記した灯ろうを元安川へ ⑩ 平和記念公園の慰霊碑には、「安らかに眠って下さい 過ちは繰返ませぬから」と刻まれている ⑪ 原爆で亡くなった多くの子どもの霊を慰めるため建立された「原爆の子の像」 ⑫ 市内の各中学校と平和展(会場:小川未明文学館)で折られた折り鶴を献呈 ⑬ 平和記念公園や資料館には、多くの外国人の姿も ⑭ 原爆によって焼け剥がれた柱/旧燃料会館 ⑮ 焼け野原となった広島の写真/原爆死没者追悼平和祈念館 ⑯ 8月11日に行われた日豪協会主催の「平和の集い」で平和への誓いを述べる直江津東中学校の古澤周太さん/レインボーセンター ⑰ 8月25日、全校集会で広島での平和学習について報告する深石さん/板倉中学校

① 爆心地から460mの位置にあった袋町国民学校に関する被爆資料を見学/袋町小学校平和資料館 ② 被爆した人々の写真を見つめる/広島平和記念資料館 ③ 被爆者でもあるガイドさんから、自身の経験談を交えながら平和記念公園内を案内いただいた ④ 平和記念式典には、国内外から大勢の参列者が ⑤ 8月6日午前8時15分、平和への誓いを胸に黙とうを捧げる ⑥ 式典終了直後の平和記念公園。慰霊碑に参拝する大勢の人で混み合う ⑦ ⑧ 被爆者援護会が主催する「献花・献水慰霊式」にも参加。生徒代表が平和の誓いを述べた後、献花・献水を行った

